

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年3月1日（水）16時00分～17時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、  
加藤原子力規制専門員  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 主査  
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他14名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料  
資料1 東海再処理施設の廃止措置の進捗状況報告  
資料2 TVFにおける固化処理状況について  
資料3 放射性廃棄物でない廃棄物の管理、個人線量計及び積算線量計並びに分離精製工場の受入基準に係る再処理施設保安規定の変更認可申請について  
資料4 スラッジ貯蔵場の津波対策に係る止水弁の設置  
資料5 廃棄物処理場屋外タンクの防油堤の変更について（外部火災対策）  
資料6 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	継承規制庁の加藤です。それでは早速ですけれども本日の面談を始めさせていただきますと思います。本日、お送りいただきました資料に基づきまして、
0:00:13	ご説明をいただきたいと思えます、ガラスぼかーの古閑処理状況についてご説明をお願いいたします。
0:00:23	はい。文章化モリカワですとか処理状況につきましては、矢羽根三つ目の二つ目のポツですね資料2っていうことで次回会合の資料として整理しておりますのでそちらの方の資料から、
0:00:38	先に説明させていただきたいと思えます。資料の方は35ページからになります。
0:00:51	36ページ目はじめにということで、今回資料全体としてです両括弧1はこれまでの通り令和6年度末の江寄対象を目指すということを両括弧2、
0:01:05	現在3号の更新に向けて、固化セル内で解体作業を行っております残作業装置の切断作業これを6月ごろまで実施するという事。
0:01:18	あと並行して解体高経年化対策ということで固化セル内にある遠隔機器、Eである4型マニピュレーターの構造の交換作業を継続しており、
0:01:29	いうことです。両括弧3として3号の更新については3月の下旬ごろですね、20数ガラスカレットを試験に向けて、
0:01:40	設備機器の作動確認を進めているということで次回面談ではもう少し進捗が進んで多分熱上げてお返ししている状況になりますので、そちらの方の方に記載を見直す予定としております。
0:01:55	両括弧2の(5)これは原因調査の記載となっております。現状者につきましては、
0:02:02	運転データの調査に加え残留ガラス作業の影響を確認するためのコールドモックアップ溶融での調査、別の規模での試験を行っております。また
0:02:13	除去の方法ですね除去装置の改良検討も進めているという状況です。
0:02:19	最後6号として対策につきましては、金会長を踏まえて、自然共管ツールに影響を及ぼすような、炉底傾斜面上部に白金族元素を期待させないような管理指標や県庁の改善等を図ること。
0:02:33	と漁港の方法ですね手順終了判断、改良等を図ることを検討しているということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:41	37 ページ目時間浅部のスケジュールということでこちらの方針直線的で第4四半期のところ進捗されております。
0:02:50	38 ページ目少し詳細な進捗ということで両括弧1の廃棄物解体両括弧2学校経年化対策旅客さんが3号の製作ということで、
0:03:02	E L O C A は1の廃棄物該当先ほどはじめにと書いたところと基本的に同じ内容としております。一応4番3交代で作業を行っておりますベテランの作業員等を踏まえながら人材育成と技術継承を進めているという状況です。
0:03:21	両学校に保険の対策として量が都丸の取りの効果については、高度利用接種キャリアッジですね、こちらを
0:03:31	女性セルに搬出し、除染セルで人手で交換するということから、法足場設置でありますとか方向どりの除染作業などを行っているという状況です。
0:03:43	両括弧3、3号の製作については、②として
0:03:49	バサルト試験ですねこちらは3月、今下旬ごろを予定しておりますのでそちらに向けた準備を進めている状況です。
0:03:57	その後11月の12月にかけて運転条件確認試験を行うということですのでこちらに向けての、
0:04:05	模擬廃棄物の調達等も現在進めているという状況です。39ページ目以降が原因調査の状況となっております。こちらは前回の会合でも示した現地調査の御苦労ということで、現在実施中というところで赤の点線で書いてますが、
0:04:23	左側としては方位の絞り込みについてですね。
0:04:28	シナリオ推定後原因の推移で、あと対策の三つはここを行って大体取りまとめる状況、あとは右側で基礎試験関係ということでこれも各病院の調査でありますとか数値解析ビーカ試験等を行って、それらを反映して、
0:04:46	シナリオを推定しているところでございます。
0:04:49	40ページ目、現地調査のスケジュールということで、今2月末の時点で、シナリオ推定と原因の推定までほぼ進んでいる状況です。
0:05:01	ウエノ02ポットの③④ですね除去作業の影響調査とか流動試験関係はまだちょっと平行しておりますが、ある程度のデータは、
0:05:12	そろってきますのでそれを踏まえたシナリオ原因推定が今大体進んでいるところで対策立案等、進めているような状況でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:24	41 ページ目以降をということでまず運転データの調査いろいろな運転データを調査した中で、ポイントとして三つですね挙げております。これ 2 号炉の運転開始 0-1 キャンペーンから、前回、
0:05:41	A-22-1 のキャンペーンまでの運転データで、その中で、添加の兆候等ないかというところで、調べたものです。あとその状況作業を前後での比較、観点で調べたところでございます。
0:05:58	3 点方今と仕上げております。PC ということでとしては、
0:06:03	右上の図 1 にあります通り自然局間の伝抵抗の低下と欧州電極間電流上昇ですね、これが運転職から行っ起きてるというのが 19-1 キャンペーンと 22-1 のキャンペーンの特徴となっております。
0:06:17	あと B として残留ガラス除去後の運転の補助電極間抵抗ですね、これが段階的に今低下しているという状況。
0:06:27	これは重大事件備考とあんまり変化はないんですけど、0-1、16-1、19-1 と段階的に低下しているという状況。
0:06:35	ここにグラフにしてませんが補助電極間の温度差っていうところにも着目しております当初 0 の 1 から 17 日キャンペーンまでは東西で温度差というのが見られたんですけど 19 のキャンペーン以降温度差がなくなったということで、こちらについても、
0:06:54	その傾向が確認されたということでございます。これらの要因について、
0:07:00	次の 42 ページ目以降で要因の絞り込みについて行っております。
0:07:06	42 ページ目 43 ページ目が自然教官抵抗が低下傾向を示し自然共感力と要因ということで、
0:07:15	堆積物の影響でありますか廉価表面の影響、43 ページ目には電力の調整、排気の補正、
0:07:24	孫ガラス温度の変動等、運転パラメーター等で推定要因調査を行ってきております。
0:07:31	主に 42 ページ目ですね堆積物の影響と、冷夏本分の影響に、
0:07:38	調査したところ、そこの中での運転データを変化させた可能性があるということで右側に丸であります但三角ってものを抽出している状況です。
0:07:49	同じように 44 ページ目、この補助電極間抵抗が段階的に低下しても同じような推定要因を調べて、その中で先ほ少し電極間電流の上昇と同じように、
0:08:01	堆積物の影響でありますれば表面の影響が考えられると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:05	45 ページ目補助電極 A B の温度差の減少要因についても、同様に体積率の影響を考えるんじゃないかということで、そこら辺の要因ですね、今絞り込んでいるところです。
0:08:18	その絞り込んだ内容のサンプル例として、46 ページ目と 47 ページ目、48 ページ目に、まず市民局間電流が上昇する要因ということで、
0:08:31	少しいろいろ原因調査をしているところです。まず 46 ページ目。
0:08:37	自然共感源流が上昇する要因として通電経度をが本来する場合の解析ですね、これは前回の会合でも示した資料を少しまとめたものとなっています。
0:08:50	右側の図 3 に上にありますようにこの主電極パターンから補助電極上部、
0:08:56	-1 に、堆積物、通電する形跡がものがあると、抵抗低下に影響するということがわかっております。
0:09:07	この主電極上部ですね、にも今回堆積物が見られたんですけどこちらについては、今回の運転データ等から、影響するものではないというような形で考えておりました
0:09:18	主電極下端から補助電極上部までの間、ここについて、通電経路があると、抵抗低下をさせる可能性があるということで考えてみます。
0:09:30	この部分については、残留ガラス除去を行った範囲ですので、47 ページで、この残留ガラス除去作業でこのような通電経路となるような白金族元素が高濃度に凝集したガラスと、
0:09:45	が残っている、除去しない可能性についてということで少し評価したものです。
0:09:53	47 ページ目の下にあります通り残留ガラスの仕方です。まず図 1 ということで、残留ガラスについては、
0:10:01	まずダイヤモンド仮定値やっぱ等を用いて除去していくと。
0:10:06	こちらについてはレンガ表面をやっぱり痛み傷つけないように、この予算を設計するとか大体こう見てどの位置までで、
0:10:15	和田井本カッターやチップを用いて除去を進めていくという状況です。
0:10:20	その後、12 ということで、表面の仕上げということでニードルスケラーですね、ガラスをたたいて回るような形になります。
0:10:29	ただこのときも、或いは表面を傷つけない少し廉価表面から 1 ミリ程度、
0:10:35	手前ぐらいで調整しながら進めていくということで、その部分に少しガラスが残る可能性があるということと、レンガの浸食ということでこれ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:48	2号炉米印書いてますけど、2号炉での運転の途中に炉内の形状計測を行ったところ、
0:10:56	大体そのレンガの浸食量としては、1から5mm程度方が確認されていますのでこのぐらいの侵食は、
0:11:04	起きてるんじゃないかということで、大体トータルで5から7ミリ程度は、
0:11:11	法令が表面にガラスが残っていた可能性が高いんじゃないかというような形で評価しているところでございます。
0:11:21	このような状況を踏まえて実際のそのコールドでの試験を行った結果が48ページとなっております。
0:11:31	こちらはホールのモックアップ溶融炉が、モックアップ試験棟にまだ残ってます、ここ過去にその200本ぐらい運転した実績のある炉をから、
0:11:45	サンプルしてそちらの方の表面を観察した結果となっております。
0:11:50	左側の図1にありますようにこれまでの除去作業の終了についてはこの映像で確認した通り、ガラスが残ってる部分ですねこれ黒く見える部分と、
0:12:02	除去を白く見える部分マリング時、とか薄く残ってる部分で判断して大体白く見えてると、終了というような形で判断してるところです。
0:12:12	実際にこの図にある通り、コールドモックアップ試験でのサンプルを行った結果です。
0:12:20	これは釣前ウエノ檀のはつり前とハツリ後ってということで、これ炉内の西東側の斜面ですね、傾斜面のガラスを切り取ってサンプルしたのですが、はつり前、黒く光ってますので、
0:12:33	ガラスが表面に薄く残ってる状況でこの右側のはつり完了後ってということで、135ってというのは、1.3. 5分ですね、1遍でニードルスケラーでたものとなっております。
0:12:44	それで少し広がっておりますので、ガラスがある程度外れたんじゃないかというような状況でございますがこれ少し詳細に確認するとその下の段になります。
0:12:56	1本では広がって荒田が目立つ状況、3分5分もある程度これはもうガラスがなくなってる状況で、Cエースがっぺんの状況でもある程度主力見られるということでこのような状況で終了してしまうと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:11	このサンプル車ガラスですね断面を今の観察してみますとこれは表面にやはり少し1ミリぐらいのガラスが残っているような状況ですので、この状況で終了すると、
0:13:23	ガラスが連絡会海面に残ってるような状況がは確認されていると。
0:13:29	ということで、除去作業、今回の状況では、このような冷え西側傾斜面上部には少し薄くガラスが、
0:13:38	残ってたんではないかというようなことを今考えております。
0:13:43	49 ページ目これ補助電極間抵抗が段階的に低下してる要因ということで、
0:13:50	こちらの前回の会合でこちらも示している通りでして、炉底ですね。
0:13:56	こちらと同じように除去しても少しガラスが残ってきているので、
0:14:02	その除去後の補助電極間抵抗の回復資料が減少傾向を示しているという状況で、同じような主電極にもこのような状況も少しガラスが残ると、これが抵抗にかつ影響するんじゃないかと。
0:14:18	というような形の評価をしております。
0:14:23	5 ページ目、
0:14:26	免許Bの温度差が減少してる要因ということで、
0:14:29	この右の図2ということでこの補助電極の温度差というのは押収ノズル間の通電ということで、主電極Bと。
0:14:39	ちょうど真ん中のノズルですねこちらを通電する時の補助電極補助電極Bの温度差を見ているものです。
0:14:48	左側の図1にあります通り、赤が東側の緑が西側の温度ということで、当初04-1のキャンペーンから17日のキャンペーンまで、
0:15:00	東側の温度が高くて西側の温度が低いというような状況を示してました。
0:15:05	これが19-1キャンペーン以降は、ほぼ温度差がなくなっているっていうことで、この西側の方に何かの水田の方が多く流れている。
0:15:16	というような状況が確認されているということで、この右側の図、図になりますようにこの橋電極Bと大西がを通過するような通電経路が存在する可能性が高いんじゃない。
0:15:29	というようなことを今は言及して絞り込んでいるところでございます。
0:15:33	これのABCの結果等を踏まえて、51 ページ目にシナリオという形で、
0:15:40	その整理しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:42	これまでも説明してる通りなんですけど、21のキャンペーン後にどのよう とこの残留ガラス状況で西垣斜面上部に、
0:15:50	残留物が確認されてそれを除去をしたんですけど、先ほど通りその西側 傾斜面業務のレンガ表面に
0:15:59	金属元素を消し切れずに残存した可能性が高いんじゃないかと。
0:16:04	この状況で、22-1のキャンペーンを開始しておりますので、こちらの 薄く残った白金族、これは多分濃度が高いガラスが薄く残ってましたの でこの通電経路をとって、
0:16:17	バス電極間抵抗が22-1のキャンペーン職からは低下傾向を示したんじ ゃないかと。
0:16:23	2-1のキャンペーン中につきましてはこの通電系ですね、こちらに主電 極間に流れて、ここの部分の温度が上昇することで、旧来の流動をが変 わってこの日にち側に多くたまりやすくなったんじゃないかということ でこれ前回、
0:16:41	21の担保をのときも同じようにこの西側にたまった時についても、この ようなこの流動の変化が起きておりますので同じようなこの西側業務 部、
0:16:52	通電ケーブルの発熱によって流動が変わって同じような形で同じような位 置に堆積したものだというふうに考えております。
0:17:01	そういうことを踏まえて52ページ目、原因の推定ということで、
0:17:09	この人が表面に三つに業種さピンど元素が堆積してしまうと、現在、残 留ガラスの除去作業ですねニードルスケーラーでは、
0:17:19	レンガの浸食部等に残存した保険の元除去し得る通電経路が掲示されて しまうと、この通電経路が主電極圧の利益を及ぼす、炉底傾斜面上部に 形成され、その弁流が一部流れになると。
0:17:33	その分の温度が上昇し流量が変わり、その右に多くの発見件数が運ばれ 堆積し、
0:17:39	抵抗が早期に低下してしまったのでないかと、ということで、対策とし ては自然今日活動に影響を及ぼす6斜面上部等にはっきり現行元素堆積さ せないことであるというふうに考えております。
0:17:52	この対策として両括弧1両括弧2の(3)ということでもまず両括弧1と しては、受験1キャンペーンで流下停止が起点となって、このような西 側の底傾斜の所にたまったということで、まずこの流下停止ですね。
0:18:09	トウジショを起こさせないということで、この流下停止表の再発防止を 図るということでこちらについて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:16	結合装置の交換でありますとか、3号炉については、因果軽視液体調整を対称性に持ってくることで、
0:18:25	流下停止事象は防げているというような形で今考えてます。
0:18:29	両括弧につきましては、ついでに無線のロケーション業務に白金旅行を堆積させないような管理指標建築の改善を図るということで、
0:18:40	流が起きないんですけど仮にたまった場合でも早めに検知するという改善をまず図るということでさらにたまってしまった場合は両括弧3ということで、
0:18:50	その場合は除去の方法手順終了判断、等が続く装置の改良等を図って対策を行っていききたいというふうに考えております。
0:18:59	53 ページ目に管理指標を検知方法の改善案ということで、
0:19:05	これまでですねこの下 04 の 1 から電話 1 のパターン、過去にも申しておりますが、通常補助電極が下がるのが①でその後、炉底低温運転の移行時間ですね、炉底の方にはっきりたまってくると。
0:19:22	この辺の移行時間が延びて自然強関係交通で丸さんに移っていくと。
0:19:27	ということで、今までは③ですねこの状況でレイアウトに移行したところなんですけど、ここまでいくと、自然局の近傍まで 25 億のガラスが堆積しまうということでその前の段階ということで②ですね。
0:19:43	固定点の移行時間等々で、とレイアウトに移行するという、そういうようなことも、管理市長検知方法を今改善するというので今対策の方を考えているところでございます。
0:19:55	これがもう少し今検討しておりますが基本的な考え方を先ほどの両括弧 1 両括弧の両括弧 3 の対策を図っていくということで考えております。
0:20:05	55 ページ 67 ページ前回ですね前々回の運転流下停止所の事例を参考で記載しております。
0:20:15	説明は以上となります。
0:20:18	原子力規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして規制庁側から、質問コメント等ありますでしょうかお願いします。
0:20:32	すみません加藤ですけれども、ちょっとすみません細かいところで幾つかちょっと確認させていただければと思います。
0:20:41	まず 1 点目なんですけれども、
0:20:46	40 ページ、原因調査のスケジュールでして、
0:20:52	2 月 28 日時点で③、2 ポツの③と④の試験について、当初の計画から伸びてると思うんですけれども、これっていうのが、何かこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:06	理由とかがもしあれば、教えていただければと思うんですけどいかがでしょうか。
0:21:12	はい。現職のこちらについては当初、もう少し簡単にサンプル作成してできるかなと思ってたんですけどちょっと
0:21:22	サンプルづくりでありますとか、いろんなパターンでちょっと比較評価やっていますので、追加でちょっと資料の加工でありますとか分析等を行っている若干ちょっと伸びてる状況ですが、
0:21:35	当初の細かなその考え方、原因の推定のところのデータがほぼ取れているので、大体のところはこれまでの中で、
0:21:46	判断できる材料はそろってきたかなというふうに考えております。以上です。はい。
0:21:51	規制庁の加藤ですけれどもサンプルを作ったりとかその条件を、何ていうんすかね
0:22:01	馬車条件広告をふやしたりとかしてそういうのに時間かかったってことですか。
0:22:06	はい。そうですね。ニードルスケーラーの試験も1人でやった場合とちょっと機械的に、そっちでやった場合で若干違うんじゃないかっていうそういう、少し追加で試験をやったりとかしてる部分があるので、きっと条件とか少し増えてはいますけど、基本的にはある程度、
0:22:25	判断できるところの試験は今すでに終わってるのでその中で原因推定シナリオ推定が進んでるという状況でございます。以上です。町長加藤です。ありがとうございます今やっていく中で、条件を追加したりということやって、ちょっと時間かかってるけれども
0:22:43	必要なデータは概ねとられているということで理解いたしましてありがとうございます。
0:22:48	続きまして次のページ、運転データの調査のところで、
0:22:56	三つの兆候を抽出していただいていると思うんですけども、その中でのBで、
0:23:02	段階的に補助電極間の抵抗が減っているということで、19-1 キャンペーンと2020日間、
0:23:12	県の
0:23:13	ところでは、低下してないんですけどもこれっていうのは、何か現職さんの方で何かお考えはお考えというかその理由みたいなものは、
0:23:25	もし考えてるものがあれば教えていただければと思いますがいかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:31	はい。誤植中です。これについてはある程度現在毎回ローディングはガラス除去してますのである程度サチってきているのか。
0:23:45	それでも今回、19-1 キャンペーン、22-1 の件、22-2 のキャンペーンはもう上部、炉底傾斜面上部に発表の行為からすごく溜まってろてた。それほど多分多く発見がたまっていなかったような状況。
0:24:00	ですので、それを除去した影響というのが少なかつたのではないかなというような形で今考えております。
0:24:09	以上です。規制庁加藤ですわかりました一つの原因としてサチってきてるんじゃないかっていうことと、あとは、労働上の方に先に、
0:24:20	当間金が固まって、当間テープの方にたまに切る前に、運転を停止しているっていうのもあって、下の方には、あまりたこうなんですかねご退席せずに、
0:24:34	運転を停止したことによってあんまり変化がなかったんじゃないかっていうふうなお考えということで理解いたしました。
0:24:41	ありがとうございます。
0:24:42	続きまして 42 ページなんですけれども、これ一番下の
0:24:49	面が表面の上に堆積した高濃度の白金族元素があるというところで、調査結果のところ、
0:24:58	弁が、
0:24:59	一番上のところですね白金族の濃度が、表面では中%内部で 15 名と%であったというふうを書いてあるんですけどこれって、
0:25:11	サンプルっていうのはどこから取ったものなのかっていうのを教えていただければと思うんですが、いかがでしょうか。
0:25:18	経験則もこれはですね前回の 21-1 のキャンペーンを終わった後に、西側の提携斜面上部の残留ガラスロックを行った時にその
0:25:29	西側の P K 斜面上部のガラスですねシャンプー除去作業してるときに、サンプリングして、煉瓦のガラスの表面と、少しある程度進捗した段階で、もう 1 回サンプルしてそれを分析したのを、北野 D たとなっております。
0:25:46	以上です。規制庁加藤です実際の残留ガラス除去作業の時に撮ったのがそのサンプルということで理解しますありがとうございます。
0:25:57	すみません続きましてですね、
0:26:01	ごめんなさい、基本的なことを教えていただきたくて 47 ページのところ、米印で、ガラス固化体製造 117 本時点における炉内の形状計測結果に基づき、侵食量が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:18	1 から 5mm程度であることが確認されているっていうふうに書いてあるんですけど、これ、形状測定で侵食量がわかるっていうのがちょっとどういうメカニズムなのかわかんない。
0:26:28	わかったんですけども、教えていただいて、もうちょっと詳しくちょっと教えてもよろしいですか。
0:26:35	はい経営主務、こちらはですね実際にこの 2 号炉で 117 個運転して 07-1 キャンペーン終わった後に、窓レイアウトして、残留ガラス除去終わった後に、
0:26:49	レーザーを用いて炉内の形状計測を行ってます。
0:26:54	この形状計測を行ったところはレンガの垂直部ですね、一番侵食しやすいところっていうのはその計器海面とか主電極周りということで、
0:27:06	その垂直部について不レーザーで、壁面ですね凸っていうのを評価して、その多さから侵食量ですね平衡壬生っていうところでその侵食量を計測し、
0:27:21	多価という形になっております。
0:27:24	以上です。
0:27:27	規制庁加藤ですけどもレーザー計測で表、表面表面というか
0:27:34	の形状を見て、
0:27:36	その凹凸で侵食量を評価してるっていうのがよくわからん、よくわからなくて、ガラス、レンガがもともとあってその上にガラスが来はっついていてと思うんですけども、
0:27:49	その張った分の凹凸を見てもし、原岩にしみ込んでるってちょっとわかんないんじゃないかなと思うんですけど。
0:27:57	そこはどういうふうに考えたらいいんですかね。
0:28:00	減少、垂直ぶーになりますので、基本的ガラスは基本的に流れてほぼレンガ表面にはガラスが付着してない状況ですけど薄板物はついてますけど、基本的に、
0:28:14	ガラス表面をレンガ表面はもうほぼガラスが付着しない状況で、刑期界面ですので液に接してないところのレンガの表面、
0:28:27	頭、そこから下にレーザーを当てて行って、レーザーの戻りですねそれで戻りの距離が凹凸が出てきますのでそれで少し距離が奥まで行ってる部分と、手前の部分での差ですね
0:28:42	ガラスしないところとの距離の差で侵食量を測ってるっていうそのような形での形状計測を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:50	規制庁の方です染み込んで量を修飾営業と言ってるんじゃないくて口径付けずれてる量を少し食糧って言ってるってことでよろしいですか。
0:29:02	結局そういうすいませんそうですねレンガが割れてるってかそのレンガ面が少しへこんでるっていうそういう意味のレンガの浸食量ですねガラスがしみ込んでるってよりもレンガが割れてきてるっていうそういう侵食のイメージです。
0:29:17	以上です。規制庁加藤です理解しましてありがとうございます。
0:29:23	次すいません 48 ページなんですけれども、これはツリー、ところまずちょっと写真の見方を教えていただきたいんですけど図 2 の、
0:29:34	ハツリ
0:29:35	市場まつり前とか、政ってこう写真があると思うんですけど、この四角で区切ってるっていうのは、
0:29:43	何かこれは、何か部分分析とか、確認のために、
0:29:48	何か、
0:29:49	何て言うんすかねメッシュで切って、やってるっていうことなんですかね。
0:29:55	後からつけた気づきっていうんすか。
0:29:59	はい原子力もこれはですねこのところのサンプルを切り出して、これを分析かけるので、細かくダイヤモンド買ったりそのレンガを等間隔で切り出し切り切り込み入れて、ブロック状にして、
0:30:16	このブロック状のところを、1分三分 135 って書いてるのが、一部ニードルスケラー出た面で三分のところは 3分 5分当てて、それぞれのさ札医管理を終わった後に、このブロック単位で切り出して、これを SEM 観察等で分析、表面の観察を行うと。
0:30:37	いうために切り込みを入れている状況になりますこの試験のためです。
0:30:42	聞いたカトウですわかりましたありがとうございます。
0:30:45	あとこれはつり一部 3分 5分 で、ニードルスケラーを当てた時間だと思えるんですけども、これ実際に担い作業を、実際の労働を行う時っていうのは、こういう時間で決めてるんですかそれとも、
0:31:00	事故何分後、何分かかってて表面見てみたいな形で、
0:31:05	状況を見ながら判断しているのかその点についてちょっと教えていただければと思います。
0:31:12	はい。原子力をもう 1 回、実際は大体その三分ぐらいを目安に、1 名、一括ですねサンプリング MS にニードルスケラーを出てるような状況

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	です。それを踏まえて少しタイだけでもちょっと時間をかけたりはしま すけど基本的に大体、
0:31:29	三分目安ぐらいで1ヶ所で仕上げのニードルスケーラーをかけていると いうような状況でございます。以上です。佐藤先生わかりましたありが とうございます。
0:31:41	はい。
0:31:44	私の方からは以上です。すいません最後にちょっと確認、確認というか 江藤なんですけれども、最後のページ53ページの原因の推定対策の立 案というところで、
0:31:57	今考えているのが②のところで、
0:32:04	何ていうんすかね1回のキャンペーンを終了するというので、これは 上の方にたまり切っちゃう前に、ある程度のところで、もう終わらせて しまって、なるべく上の方、
0:32:19	何ていうかねくっついてはつってっていうその何かサイクルみたいな のをなるべく
0:32:27	影響を少なくしようっていうことでこういう体制を考えているって いうことで理解したんですけれどもそれでやっていますか。
0:32:35	はい原子力折笠のその理解で間違いありません。③までいくと、主電極空 間の抵抗に影響を及ぼすような位置に、堆積しまうのでそこまでいくと やっぱりこうはつりを綺麗にやっても残る可能性が。
0:32:50	あると。そこがやっぱり今回のような事象に影響する可能性があります のでその前の段階で、間は所とレイアウトして、はつりの影響を少なく して、安定な運転を維持するっていう観点で、もうちょっと早めにドラ イアウトするようなことを今考えております。以上です。
0:33:10	カトウですわかりました。ありがとうございます。私の方からは以上で すけれども、が規制庁側から何か確認しておきたいことがありますでし ょうか。
0:33:29	他よろしいでしょうか。
0:33:38	植野さん何かありますか。
0:33:41	藤。皆さん、えっとね。
0:33:44	48件はっきりの状況で、そういう観察をするってというのは今後今やられ てるってということなんですけど。
0:33:54	黄色のデータをとっていますので一応SEM観察はやってまして、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:02	左下のはつり 1 分後 3 分 5 分後で断面観察はもう終わってます。1 分後、画面観察は大体コンマ 7 ミリから 1 ミリぐらいのガラスが表面に薄く残っているような状況で、
0:34:17	3 分 5 分後についてはもうほぼガラスがなくてレンガ界面が出てるっていうな、そういうような結果はられてます。以上です。
0:34:26	はい。状況わかりましたありがとうございます。
0:34:31	これは侵食要因なんでしたっけ。
0:34:37	はい。レンガの侵食要因はガラス中のですね灯成分とかそういうのが少しずつレンガの
0:34:50	表面相馬現存の交換等をしてそれでレンガの表面が徐々に少しもろくなるっていうか、それで少しずつ進捗していくような、
0:35:01	そんな過去のいろいろ分析とか連絡会議の分析結果からは、そのような状況の結果がえられております。
0:35:09	なので、その温度が高くなればなるほどやっぱりレンガの侵食が進みやすくなるというような傾向はえられているところでございます。
0:35:28	当間ですの残留'状況や堆積物ですね、があると。そこに通電パスができて、通電経路ができるとその部分は当然その温度が高くなりますので、
0:35:43	通常その堆積しないところと比べると、やはりそこは少し
0:35:48	侵食が進む、進みやすいんじゃないかなというようなことを想定してますので、
0:35:54	多分その前回 19-1、21-1 で同じところに溜まって、また今回も同じところに溜まったりしてますので、何かその部分が
0:36:06	少しへこみのへこみとか侵食が進んで、よりたまりやすくなってる部分残りやすくなってる部分ではないかなあというのは、少しその想定はしてるところでございますけども、実際その、
0:36:18	海面を見てみないとわかんないところもありますので、そこ 2 号炉の解体とかの中で、ちょっとそういうところも含めて、確認していく必要があるかなというふうには今考えているところでございます。
0:36:33	以上です。よくわかりました。
0:36:38	はい。
0:36:43	計上カトウです他よろしいでしょうか。
0:36:48	はいつかよろしければ、次の説明に移っていただければと思います。1 ページ目に戻りまして工程洗浄の進捗状況についてご説明をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:03	はい。それではない施設からこの方から工程洗浄の状況について口頭でご説明いたします。こちらの方、まず、定年後のプルトニウム取り出しの報告けれども、
0:37:13	前回ハシモトより2月11日にIAEAのを立ち上げ元経理ポイントの層厚方を行ってありまして、良好な結果でありまして、装甲車の作業につきましては5時終了しております。
0:37:26	そ昨日からその方向性で使って液位を使いまして、使った気象庁さんです。ね、そういうものを使いまして実際のルートでの損益調査を通じて、習熟度向上のための訓練を実施しております。こちらを3月10日頃まで実施する予定です。
0:37:41	そして現在のところ、プルトニウムの取り出しに係る準備の方は順調に進んでありまして、3月下旬を目標としている。取出し開始については、日付が確定次第、連絡させていただきたいと思っております。
0:37:55	二つ目ですけども、浦野戸井田氏の方についてですけども、こちらの方を残り330キロでございますけれども、現在宗ゲートの健全性確認を実施しておりまして、計画通り順調に進んでいる状況です。
0:38:08	以上2点なります。
0:38:11	現状規制庁カトウですこちらにつきましては順調に進んでいるということで理解いたしました。規制庁側から何か確認しておきたいことありますでしょうか。
0:38:25	はい。ではよろしければ、引き続きよろしく願いいたします。続きまして、資料の1のご説明をお願いします
0:38:34	資料の1を仮想。
0:38:36	についてご説明をお願いします。
0:38:41	書記河野オカノでそれでは次回国家会合でご説明します、東海再処理施設の廃止措置の進捗状況報告ということで資料1にて変更箇所をご説明させていただきます。PDFでご覧いただいておりますのでと思いますが8ページ目となります。
0:38:58	変更箇所を下線にて示させていただいております。その他についてはこの表で直した部分に関連するところ3年とか、あとはスライドの方直しておりますのでこの表でご説明させていただきます。
0:39:10	前回の面談においてコメントいただきました、ガラス固化体の製造本数60本の目標に対して25本で終わったというところで、こちら自己評価の部分です、ね、三角であったものをバツということで直させていただいた上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:24	今後の見通し、課題について、下線部分のところの記載を追加させていただきました。
0:39:31	続いて新規基準を踏まえた安全対策、あとは工程洗浄については五味のところを少し直させていただきましたので各線のところを聞かせていただいております。
0:39:41	L W T F の方になります。L W T F については前回ですね、セメント固化し、設備に関わる試験データの拡充と硝酸今回設備に関わる試験データの拡充ということで合わせて、
0:39:53	三角ということで自己評価の方させていただいていたところですが、こちら分けさせていただきましたので、セメント防火設備に係る試験データの拡充については0、硝酸本分解設備に係る試験データの拡充については、
0:40:06	実証プラント規模試験装置の試験場所の設置、製作設置ができませんでしたのでこちらについてはバツということで自己評価の方を変更させていただきました。
0:40:16	これを踏まえまして今後の見通し、あとは課題等というところで下線部の記載を追加させていただきました。
0:40:23	下線部のところの記載ですが、可能な限り早期に消散等分解設備の技術的成立性を確認する観点から、令和6年度内の製作設置試験着手を目指すとともに、
0:40:36	実証プラント規模試験を効率的に進めるため、主要機器である分解総代の拡販や温度の均一性に関わるシミュレーション解析等を進めるということで記載のほうつか追加させていただいたところでは、
0:40:50	ご説明は以上となります。
0:40:53	原子力規制庁の加藤ですご説明ありがとうございました。
0:40:58	これL W T F わあ、令和4年度着手が令和6年度になってしまったってことなんですかね。
0:41:08	を着手自体は、令和6年度試験の着手という意味では、令和6年度を目指してやっていくということで修正させていただいております。
0:41:19	規制庁カトウですけれども、この試験、試験着手が令和6年度、
0:41:27	令和
0:41:29	令和6年度内までに、政策と試験装置の清政策、設置を終わらせて、その上で試験に着手するというところで目指してるんです。
0:41:42	そういうことなんですね。わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:49	そういうこと、要は06年度にはもうプランができているということ は、そういうことです。
0:41:56	わかんない。
0:42:02	はい。
0:42:04	見栄えが良くなったと思います。
0:42:12	これならいいだろう。
0:42:18	はい。はい。他、規制庁側から何かありますでしょうか。
0:42:31	はい。特にないようですので、そうしましたら資料の3のご説明をお願い したいんですけどもこちら、
0:42:41	多分、別途面談でご説明いただいている内容だと思いますので全部説明し ていただかなくて結構なので、資料をまとめた上でのポイント等があっ たらそこ。
0:42:54	ここ、中心にご説明いただければと思います。
0:43:02	再処理院長からハシモトになります。
0:43:07	今回作成しましたのはこれP L O H S 58 ページ目、こちらは、内容につ いては、新たに作成したものになります。まずフォームをご覧の通りで して、そのそれぞれの項目についてですね、令和5年、48日に申請した と。
0:43:25	それぞれ四つほどポツがございますけれども、まず一つ目が、N Rに関 すること、二つ目はK N T 以外も使えるようにすること。三つ目が、フ ラン溶液の受入基準の見直し。
0:43:40	あと、三つ目は文書の適正化ですね、を行うというふうにしておりま す。
0:43:46	59 ページ、一方ですね、59 ページ 60 ページに詳細な説明、付けさせて いただいております内容の方は、前回2月1日に面談させていただきま した時と同じ内容になりますが、
0:44:00	その時項目をですね変更理由、それから変更内容という枠の中にそれぞ れ三つですねNMRとかT L Dを入れていて、
0:44:11	変更理由と変更前の関係がちょっと離れすぎて読みにくいなというところ がありましたので、それぞれ今回は項目ごとに、変更理由と変更内容を 記載したという、
0:44:21	位置関係を見直したということになっております。
0:44:25	ポイントとしてはそういうところになります。説明は以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:31	規制庁カトウでご説明ありがとうございました。すみませんちょっと何度も聞いて申し訳ないんですけど、1ポツのNRの規定なんですけれども、
0:44:40	これって、今はこの対象の物品っていうのはどうしてるのかっていうのを設定してよろしいですか。
0:45:01	抽出評価のPMでございます。もう大変発生した廃棄物はございませんので通常の物品立入Dについては最初にそれに基づきます告示の
0:45:13	方を、
0:45:18	はい。
0:45:22	規制庁加藤ですすみませんちょっと通信が途切れてしまったのもう一度よろしいですか。
0:45:29	今時点は
0:45:32	今度は医局長としては今度なくてですね物品の普通の再処理規則に基づきます出し入れの管理。
0:45:39	告示で定める10分の1の密度限度に基づいた資料等は持ち出しをやっておりますけども、
0:45:48	神様の申請金の中の改造工事とかも廃止をする上で、また廃棄物が発生しますので、今後はこのNR廃棄物、産業廃棄物で出すものですか、
0:46:04	が出て参りますので、適正な管理、この法案に基づいた文章に基づいた管理をやっていくようなことを考えております。
0:46:15	具体的にはどういう取り扱いになるのかっていうのをちょっとざっくりでいいんで教えてよろしいでしょうか。
0:46:27	具体的な管理を想定してる内容って何ですか。具体的にこれをNRを取り込んでました。工務部
0:46:39	具体的な想定内容って何ですかっていう問いに代えさせてください。
0:46:45	具体的にはですね、物品と資材がございまして物品等につきましては、履歴管理で
0:46:56	村瀬仙石木野を
0:46:59	専務理事のところを持ち込んだもの、履歴がないですとかそういった管理を行って、管理をします。資機材につきましても同じように示された区域で使ったものでないとそれと履歴管理があって、
0:47:11	物件次第について、
0:47:17	こんな時間になりますけど最終的には全部測定値のため測定というので建設委員会か値が出ないような汚染がないことを確認した上で持ち出しを考えると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	実際のもは蛍光灯ですとか総額ですとかそういったものが該当するものになるかと。
0:47:35	当然明らかにもうずっと汚染損害額で使ってるものを資機材等はそういった該当のものになっておりますけども、具体的にどれかというのはありませんけども、
0:47:46	今、ありますのは、消化器とか、蛍光灯とかというのが該当する物になるかなと。
0:47:54	なるほど。
0:47:59	規制庁加藤です。わかりましたありがとうございます。
0:48:10	規制庁から確認しておきたいことありますか。
0:48:17	ウエノです2ポツの線量計について確認したいんですけど。
0:48:22	これ現状はJ Aで評価とか測定を行ってるってということですかね。
0:48:32	はい。5G、あ、すいません品質部長からハシモトです。現状はJ Aの方で、測定の方をP F Pの時代で測定をしているということになります。
0:48:43	それはカクサケンでやってることなんですか。
0:48:47	はいその通りでございます。
0:48:50	はい。
0:48:51	それと今回資料の中にはないんですが
0:48:55	水晶体のう。
0:48:59	線量計も追加になってるんですが、
0:49:02	それについては何か今後のために追加してるってことなんでしょうか。
0:49:10	すいませんこちらの今概要版、首藤の方には記載がございませんが、おっしゃる通り暫定のC A Q対象表の方には、
0:49:20	水晶体の方を確かに入れております。こちらは今までなかったというよりは、もう通常体の線量計をつけるというのはもう昨年度来始まっておりますので、実際運用しておりましたが、
0:49:35	この記載の中で、裾その他線型課長が必要、線量計測課長が必要と認め、認めるもの。
0:49:46	等っていう形の頭の中でちょっと読んでいて、明確でなかったということで今回新たに水晶体線量計という項目を起こして、
0:49:57	わかりやすくしたというそういう内容になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	磯そうするとーその指リング等、水晶体っていうことですが、ほかにはもうない、ほかにはないってことなんですかね。
0:50:17	はいそうですね現状使っておりますのは確かにPL ディーリングとその目ウエノそうですね。
0:50:24	線量G y、
0:50:25	なります。はい。
0:50:28	はい。
0:50:30	わかりました後すいません。
0:50:34	サンプのところで、以前も聞いたかと思うんですけどこれ、
0:50:43	ブランド縮度を、
0:50:46	現行4%から1.6%に変更してるんですが、
0:50:51	これ臨界上は4%でも問題ないっていうことですかね。
0:51:14	当監視施設課オオブです。
0:51:17	4%、今回保安規定の申請をですね4%の
0:51:23	250グラムっていうことで申請してしまったんですがこれは転換施設Ⅱでもう基準を守ってきてしまったっていうことなんんですけども、
0:51:35	4%の臨界上問題ないかっていうことに対しては、やはり核的制限値が今回1.6かのとときに450になってますんで、
0:51:48	その管理としてはやはり核的制限値に合わせないといけないということで変更するものになります。
0:51:55	と同じてんかん説では、4%で450グラムということではなかったでしたっけ。その通りです。
0:52:06	なので、臨界上の問題はないんですっていうことでいいですかっていうのがまず質問なんですけど。
0:52:15	それと
0:52:17	分離精製工場では、保管の仕方が違うとか、そういう条件があって、
0:52:23	臨界上違うんですっていう理由、何か理由、その違いの理由があるのであれば教えて欲しいなと思ったんですが。はい。各週施設課長です。転換施設Ⅱの詳細られる所層は形状管理しまして、
0:52:38	分離精製工場の裏の調査についてはベンダーの通常タンクになってまして、管理がそもそも異なってることになりますんで、そういった違いが出ています。
0:53:04	そうすっと1.6でないと駄目だってことなんですかね。はいその通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:20	わかりました。
0:53:22	もともとごめんなさい 1.6 だに設定すべきだったものを誤って 4% って書いてしまったってということで、伊勢です。
0:53:33	わかりました。
0:54:07	現状規制庁カトウですけども他、規制庁側からよろしいでしょうか。
0:54:14	はい。続きまして、資料の 4 のご説明をお願いします。
0:54:26	原子力機構の教育です。61 ページ資料 4、スラッジ貯蔵場の津波対策に係る被水弁の設置についてご説明をいたします。
0:54:35	1 ポツ概要のところでございますが春、T V F 及びそれに関連する施設以外で、放射性物質を貯蔵保管するプラント等の施設につきましては、廃止措置計画におきまして、
0:54:51	設計津波に対して海水が建屋内に進入することがありましても、有意に放射性物質を建屋外に流出させないこと、これを目標として必要な対策を実施することとしております。
0:55:05	これらの施設の内開き貯蔵場につきましては、津波の評価におきまして、セル内に流入した海水圧力によりまして
0:55:15	処理場にあります廃溶媒貯槽が損傷し、貯槽内の溶液の一部が海水とともにですね、建屋外に流出する可能性が否定できないということがわかりましたものですから、シェルへの海水の流入量低減の対策を行うこととしまして、検討を進めてきました。
0:55:35	今晚、検討結果を踏まえた対策案の設計が終了しましたことから、廃止措置計画の変更認可申請を行いまして認可後に工事に着手したいというふうに考えております。
0:55:50	次に対策の概要でございます。図 1 に
0:55:56	関辨野を設置概要が示しております。スラッチ北條への津波襲来におきましてこのスラッジ貯蔵場に移入した海水は、
0:56:08	上の図の方を見ていただきますと、1 階のですね保守区域 A と A - 111 と A - 112 というところがありますが、ここにあります廃溶媒貯蔵セルに通じますその給気口のですね、
0:56:22	バク等を経由してセル内に海水が流入いたします。
0:56:26	このために、このセル通気ダクトにですね、鎮目を設置しましてセルへの海水の流入を防止すると、こういう対策でございます。
0:56:36	工事の内容といたしましてはこの A - 11111 にあります中期計画等に C 弁を設置します。これアクサ土肥氏のバタフライ弁でございます、通常は

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:49	会議で使用いたします。
0:56:51	また地震や津波の影響によりまして電源とかですね、バックが喪失しない場合にはですね、自動的に閉となる、そういう機能を持たせております。
0:57:01	もう一つは運転員が常駐いたしております廃棄物処理を、ここからですね、その止水弁を遠隔で操作するための操作盤を、
0:57:11	廃棄物処理場の3階に設置して設置するというところでございます。3階というのはですね、津波の警報発令時に、運転員が対する階層になります。
0:57:22	ということが工事の内容でございます。
0:57:25	次に耐震評価の考え方でございます。止水弁の設置に当たりましては既設の旧規格とのですね、耐震分に合わせましてB類として設計いたします。
0:57:37	また止水版は廃止措置計画用の設計地震動相当の地震、それと設計津波の制圧に頼るものとして設計をいたします。
0:57:47	2-3検査を締め検査と試験を示しております。これらの検査、試験を実施しまして性能と品質を確保いたします。
0:57:57	次のページでございます。
0:57:59	細木計画の変更につきましてでございます。この対策工事はですね、性能維持施設であります。建屋及びセル換気系のセル換気系吸気ダクトの一部変更し火消し弁を設置するものであります。
0:58:16	したがいましてその既存の耐震性に影響が生じますことから、設計及び工事の計画に関わる廃止措置計画の変更認可申請を行いたいということでございます。
0:58:27	4ポツにスケジュールを示しております。廃止措置計画の変更認可申請の時期でございますが、7月から5月を考えております。
0:58:37	詳細については今調整中でございます。
0:58:40	工事の時期につきましては本年9月から来年2月ぐらいの予定を考えております。
0:58:48	説明以上でございます。
1:01:27	あ、すみませんこちらでちょっと打ち合わせしてしまって申し訳なかったです
1:01:36	ご説明ありがとうございました。こちらなんですけれども、ちょっと審査の1、位置付けとしては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:44	この既存の性能、あと、新たにとり取りつけるんですけども、その機能を設工認で取るというよりは、この
1:01:55	既存の性能維持施設である
1:01:58	何か廃溶媒貯蔵セルの換気換気空調系みたいなもの。
1:02:05	の好影響みたいなところを、
1:02:08	見るみたいな、そういう、
1:02:11	イメージですかね。
1:02:14	はい。その通りでございます。
1:02:17	規制庁加藤です理解いたしました。ありがとうございます。はい。
1:02:25	他、
1:02:28	規制庁側から何か確認しておきたいことがありますでしょうか。
1:02:36	ウエノで
1:02:39	この廃溶媒セルの
1:02:42	綱津波はその図の
1:02:45	1-1で言うと、
1:02:46	どこまでを想定してるんですっていう、6ぐらいからくんじゃないよ。
1:02:53	営業小規模の長期です。太陽が一応造成ルーバー海水でまわしになるということでございます。
1:03:02	津波高さとしては3メートルぐらいから想定してるっていうことです。
1:03:07	二分が想定想定なんでしたっけ。
1:03:11	本当でしょう。伊芸瑠羽。
1:03:16	恩田宗君想定。
1:03:20	ごめんなさい、元局長の上下、
1:03:26	5メートルを想定しております。これ、配布場所整理は3メートルぐらいですので、使ってしまうというそういう増加でございます。
1:03:36	はい、わかりました。
1:03:38	それと
1:03:43	20件の耐震評価の考え方のところで、
1:03:48	リリース1として設計するというのと、
1:03:52	止水分は、設計用地震相当の地震津波って書いてあるんですけど、
1:04:01	このびびるな部分と、止水弁は、設計地震相当っていうとこどう少し違ってるのかなと思うんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:04:13	影響機構の長期です。施設がBUですのでビル合わせて設計をし、設計 という申請をいたしますが議事録的にここに書かれておるようなもの に頼るものとするというそういうことでございます。
1:04:28	藤。
1:04:33	耐えうる表評価をするってことですか。
1:04:37	はい、そうです。
1:04:39	ただ申請上はBとして申請をいたしますということでございます。
1:04:45	はいわかりました。
1:04:52	成長カトウですけども他よろしいでしょうか。
1:04:59	はい。それでは資料の方のご説明に移っていただければと思います。
1:05:08	損傷機構の白水でございます。資料5-させていただきます。
1:05:13	廃棄物処理屋外タンク防油堤の変更についてということで外部火災対策 なるものがございます。1ポツ、概要でございますけれども、
1:05:24	H o w T V F それに関連する施設以外で放射性物質を貯蔵保管するメン プラ等の施設につきましては、廃止措置計画の中で
1:05:37	建屋の健全性に影響を与えないように火災時におきましては外気の温度 を200度以下とすることとしております。
1:05:46	この中で廃棄物処理場の屋外タンクにつきましては、火災時の浅香佐治 です。近隣の第3. 放射性
1:05:57	廃液蒸発処理施設Z施設、及び焼却施設配布施設の建屋の健全性に影響 を与える恐れがあることから、
1:06:09	予定の面積の削減等の対策を行うといった趣旨の記載をしております。 これを踏まえまして本対策につきましては、
1:06:20	令和5年度に施工設計工事を実施する計画でございます。これらの実 施内容について報告いたします。
1:06:31	次にその対策内容でございます。
1:06:37	次のページ、65ページにも別添1にその内容を進めてございますので、 そっち。
1:06:48	次に対策後の状況を示してございます。
1:06:52	左のパイプラインの方でございますが、中央部を予定を示してございま す。いただいております。要項を約8メートル、
1:07:04	縦が約3メートル-9から4メートルの小栗でございます。その中に二 つの農業タンクを設置してございます。一つは、左側
1:07:16	昇格鮎施設の昇格同様の年齢でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:21	第2の第二種、第4類の大井関であります通りですね、こちらを貯蔵しているタンクでございます容量的には4.6立米でございます。
1:07:36	右側は、
1:07:39	奥千璃さんカルシウム、ちょうどしておりますタンクでございますこの口山カルシウムは、これはIFで廃溶媒の整備でありますドデカンこれを手書償却する際にですね、
1:07:56	その中に微量含まれておりますリン酸によって、
1:08:01	金属材料、不足しないようそのホウ素食うのために投入するものでございます。こちらこの福士さんカルシウムを含む、これ、こちら第四部の大井関でございますが容量的には1.2立米のタンクになってございます。
1:08:20	で、
1:08:21	これらのこの現状の
1:08:25	動いてでございますが現状これで火災を想定した場合でございますが、
1:08:33	そうする数を想像した場合は、近隣の施設のZそれからIFの外壁の温度はですね、マゼット抜きなっちゃう、234度、IFにおいては210度と、
1:08:47	いうことで、200度を超えて建屋の健全性に影響を与える恐れがあるという状況でございます。
1:08:54	それを踏まえまして右側、対策ということで、
1:08:59	もう一定の中央部分に仕切りてを設置いたします。幅が約1.1メートルの仕切りでございます。さらに栗栖奥津さんカルシウム側の
1:09:15	エリアの内壁Pですねこちらに冒頭の周知ということで、幅30センチ程度の周知を行うことを考えております。
1:09:26	これによりまして米の面積を削減し、さらには
1:09:33	ノード分割されますので、より小さなものに、仮にですね分割されることとなります。
1:09:40	それで外壁の温度はジェットifでそれぞれ179° 163ということで、200度下回り
1:09:52	建屋の健全性に影響を与えないということになります。こういった対策を行って参ります。
1:10:00	64ページに戻りまして、本対策の許認可上の取り扱いピットでございます。
1:10:08	まず1点目ですが、この置いてはですね、アイス地計画につなげる性能維持施設ではなく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:15	また維持基準規則に該当する設備ではないと考えておりまして、本変更につきまして、廃止措置計画の変更認可申請は不要と判断しております。
1:10:28	二つ目としまして
1:10:31	この5では、消防法の規制により設置が義務づけられたものでありますので、
1:10:38	この変更につきましては事前に消防に説明しておりまして、問題ないということを確認しております。
1:10:46	3点目ですが、施工設計工事におきましては最終施設の保安規定等に基づく品質マネジメント規則類に従いまして、
1:10:57	設計開発の妥当性確認等を実施し、品質を確保していくものと、隠していきたいと考えてございます。最後にスケジュールですが本変更の工事は令和5年の8月から9月ごろを予定しております。
1:11:13	以上報告でございます。
1:11:19	規制庁加藤です。ご説明ありがとうございました。こちらにつきましては、先ほどの資料4の、
1:11:26	ロジックでいけば
1:11:29	へー。
1:11:30	安保ご提案というか、ご報告いただいた通りの取り扱いで特に問題ないかと思いますが植田さん、いかがですか。
1:11:41	取り扱いとしてはいいと思います。ちょっと教えて欲しいんですが、この石油等、
1:11:49	クックチル3っていうのは、何か使う予定があるんですか。
1:11:58	奥チーフさんファイル主務につきましてはこちらはああいうのを、
1:12:05	ああいう施設の小型焼却炉というのがございましてこちらで
1:12:11	は言う場合ですねこれをS Dで別の施設で精製をした分離をするドデカンだけを抽出してそのどれかを償却する際に、
1:12:23	腐食防止のために投入するものでございますんで、そのI Fの焼却炉
1:12:30	をにつきましては、こちらは
1:12:34	まだ当面運転する予定はございません。
1:12:38	S Tでの若干の整備等を筒を終えた上で実施する予定にしてございますので奥地さんC A M S株式につきましては当然、実質
1:12:49	使用する予定はございません。
1:12:54	相田使うっていう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:57	扱えますが、支援しますが
1:13:02	整備の後に使用します。
1:13:04	S IIの整備を、を辞した後に
1:13:09	アイフルの運転で奥地さん株式が使用します。
1:13:14	今後、
1:13:15	等につきましてはこちらの焼却炉の低放射性固体廃棄物ですね、ショウキョクキャンペーンにおいて
1:13:24	使うものでございましてこれは
1:13:29	来年度もですねキャンペーンにおいて使用する予定でございます。
1:13:34	以上です。
1:13:37	はい、その必要なものであるっていうのは理解しました。それでその、例えばその、
1:13:44	棒防油堤を狭くするっていう対策は一つかと思うんですけど、例えばその、
1:13:51	貯留量を減らすというのでも、
1:13:55	火災に対する対策としては、選択肢としてはあるのかなと思ったのでちょっとお聞きしました。以上です。
1:14:10	規制庁加藤です。他はよろしいでしょうか。そもそも。
1:14:22	すみません説明は申し上げます古澤カルシウムの用途について説明いたします。はい。打田さん各種
1:14:32	のは、焼却施設でどれかを昇格する際にその中に含まれております。林さんが腐食の影響を与える可能性がございますので抑えるために、
1:14:48	投入するものでございます。焼却施設で別館を焼却する時に投入防食のために投入するものでございます。理解しました。
1:14:57	理解しました。
1:14:59	はい。
1:15:01	院長。
1:15:05	いいんじゃないですか。はい。
1:15:08	結論は皆さんの見解の通りでよろしいと思います。
1:15:12	はい。
1:15:14	はい。どうも失礼しました。はい。以上です。よろしく申し上げます。それでは最後にスケジュールのご説明申し上げます。
1:15:23	はい。小石だから、そういうのも簡単に説明させていただきます 66 ページになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:30	地下の監視委員会後ですね 16 日で今仮置きさせていただいておりますがそちらに向けて来週の 1 度目をお願いしたいと考えております。
1:15:40	町村の移行のスケジュールについては改めて丹新開を以降にですね、
1:15:48	記載させていただきたいと思いますが、次回の問題は、3 月 8 日をお願いしたいと思っております。簡単ですが以上です。
1:15:56	原子炉規制庁古藤です来週ですけれども同じ時間で同じ場所で開催できますのでよろしくお願いします。
1:16:07	はい。編集局吉田です了解しました。
1:16:11	規制庁側から何か確認しておきたいことありますか。
1:16:18	よろしいでしょうか。
1:16:20	規制庁か現職評判か何かありますでしょうか。
1:16:29	植木高校は特にございません。
1:16:32	はい。ありがとうございます。それでは本日の面談以上にしたいと思いますどうぞもありがとうございます。
1:16:38	ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。